

# 菊地ゆたか 後援会だより



令和2年3月発行

菊地ゆたか後援会

〒410-2405 伊豆市加殿136-1

TEL0558-72-7777

Facebook

菊地ゆたか後援会 検索

最新情報はここから

この春で伊豆市長として3期12年務めてまいりました。合併後の水道料金統一や諸課題を実施することができ、まず手掛けた修善寺駅周辺整備によって、南北通路が花で飾られた心地よい駅に生まれ変わりました。天城北道路と国道136号改良工事も完成し、伊豆市への道路アクセスは各段に改善されました。いずれも、国、県、そして国会議員・県議会議員の先生方と緊密に連携してきた成果です。

40年間見直すことのできなかつた修善寺地区の都市計画も改正しました。長年の課題であった熊坂の廃墟施設は撤去されてきれいになり、牧之郷、瓜生野、加殿、本立野などで住宅が建ち始めています。これから中伊豆、天城湯ヶ島、土肥にも都市計画を広げていきますが、特に土肥では津波防災とセットで都市整備を進めることにより、より安全で快適なまちづくりを目指します。

教育委員会は、修善寺・中伊豆・天城の3中学校を統合して、日向地区に新しい校地を整備する方針を決めました。これが実現すれば、中伊豆中学校の場所に小学校を建て直して、こども園と連携した教育環境が整います。現在の小学校の跡地利用は、皆さんで話し合っ進めましょう。

伊豆市は小さな自治体ですが、国や県との強い連携によって、未来に向けたまちづくりを進めることができます。

## 1 新ごみ焼却場の建設について

合併以来の懸案であった、伊豆市・伊豆の国市のごみ焼却炉建設が合併特例債の期限内にスタートすることが出来ました。

建設費は別表のように、その負担は年額約6千万円となります。また、新ごみ焼却炉施設の運営維持管理は民間企業が行いますので別表からも経費の節減になります。新施設は災害時に発生したごみ処理の余熱を効率よく活用など循環型社会に適應する長期的に安心安全で安定稼働する施設として地域に貢献することができます。

<b>建設費 101 億円</b>		
環境省補助金 29 億円	伊豆の国市 40 億円	伊豆市 32 億円
	交付税 21 億円	市負担 11 億円
運営維持管理費 (年額)負担	<b>合併特例債20年返済 年額6千万円</b>	
伊豆の国市 2億4千万円	伊豆市 2億円	

現在、伊豆市2つの焼却施設の管理費は、年間2億9千万円

## 2 伊豆市の市債(借入)について

伊豆市の市債残高見通し(令和6年)は、約260億円です。この返済は市民皆様の将来負担が大きくなるないように、次のような内訳で返済します。

### 260億円の返済内訳

#### 173億円：国の支援

交付金として国から市へ支払われ、市の財源になります。この交付金は国へ返す必要はありません。(この制度を合併特例債といい、時限は令和6年3月31日まで)

#### 87億円：市の自己負担

市は、将来の必要な大型事業の為に基金積立てをしています。その基金の内、74億円を取り崩して支払いに充てます。

このように合併特例債制度を活用することで、市民皆様の負担を少なくすることが出来ます。今後も、この制度を活用できるように国や県と連携しながら着実に事業を進めていきます。

### 4月の市長選に

\* \* \*

新ごみ焼却場建設、文教ガーデン・シティに**反対**、さらに、新年度予算にも**反対**した**市議**が出馬表明!



写真上から / 月ヶ瀬インター・道の駅伊豆月ヶ瀬(天城)、御幸橋架け替え工事(修善寺)、津波避難タワー(土肥) ないかず認定こども園(中伊豆)